

LIVE ROUNDAABOUT JOURNAL

「ライブ編集」というコンセプトのもと、会場にて建築家のレクチャー+インタビュー、その文字起こし、レイアウトなど、取材・編集作業をライブ形式で行い、フリーペーパー「ROUNDAABOUT JOURNAL」を即日発行するといふメディア型のイベントです。

日時：2011年9月19日[祝] 開始=13:00 | 終了=17:00

会場：BankART Life3 新・港村 Aゾーン

タイトル：決定の設計

主催：TEAM ROUNDAABOUT+NPO法人ドリフターズ・インターナショナル

ゲスト：メジロスタジオ/末光弘和[SUEP]、山道拓人[g86]/noma

モデレーター：藤村龍至/藤原徹平

ROUNDAABOUT JOURNAL[媒体概要]

企画・編集：藤村龍至/山崎泰寛

編集協力：伊庭野大輔/藤井亮介/松島潤平/本瀬あゆみ/刈谷悠三

デザイン：刈谷悠三

発行部数：5000部

配布：LIXIL GINZA および大学、書店、ギャラリー等にて

vol.01 「1995年以後の建築」[タブロイド版/2007年3月発行]

vol.02 「1995年以後の都市」[タブロイド版/2007年3月発行]

vol.03 「都市ビーティ革命」[タブロイド版/2008年1月発行]

vol.04 「オルタナティブメディアは必要か」[建築雑誌 2008年1月号]

vol.05 「愛と力の関係」[ライブ編集版/2008年1月発行]

vol.06 「統・愛と力の関係」[ライブ編集版/2008年1月発行]

vol.07 「議論の場を設計する」[Dialogue(台湾)2008年4月号]

vol.08 「マイ・アイデアティティ」[タブロイド版/2009年1月発行予定]

vol.09 「手の内側」[ライブ編集版/2009年1月発行]

vol.10 「メタボリズム2.0」[ライブ編集版/2010年2月発行]

vol.11 「アーキテクト・アーティスト」[ライブ編集版/2010年10月発行]

TEAM ROUNDAABOUT

建築家、編集者、グラフィックデザイナーからなるメディア・プロジェクトチーム。

2002年、藤村龍至と山崎泰寛により活動開始、2007年より現編成。

「議論の場を設計する」をスローガンにフリーペーパー「ROUNDAABOUT JOURNAL」、

イベント「LIVE ROUNDAABOUT JOURNAL」、

ウェブマガジン「ART and ARCHITECTURE REVIEW」の

企画・編集・制作を行うほか、書籍の出版、全国各地でのシンポジウムの開催、

展覧会のキュレーションなどを精力的に展開し、

独自の現代日本建築・都市論を提示している

aar.art-it.asia

- 藤村龍至 | Ryuuji Fujimura

1976年東京都生まれ。東京工業大学大学院、

ベルラー・ヘインスティュート、ISSHO 建築設計事務所共同主宰を経て、

藤村龍至建築設計事務所主宰。2010年より東洋大学専任講師

- 山崎泰寛 | Yasuhiro Yamasaki

1975年島根県生まれ。横浜国立大学、京都大学大学院を経て、

「建築ジャーナル」編集部勤務

- 伊庭野大輔 | Daisuke Ibano

1979年東京都生まれ。

東京工業大学大学院を経て、日建設計勤務

- 藤井亮介 | Ryosuke Fujii

1981年香川県生まれ。

東京工業大学大学院を経て、坂倉建築研究所勤務

- 松島潤平 | Junpei Matsushima

1979年長野県生まれ。

東京工業大学大学院、慶研吾建築都市設計事務所を経て、

2011年松島潤平建築設計事務所設立

- 本瀬あゆみ | Ayumi Morose

1980年長野県生まれ。東京藝術大学、東京工業大学大学院、

隈研吾建築都市設計事務所を経て、2011年ASDL設立

- 刈谷悠三 | Yuzo Kariya

1979年東京都生まれ。

大阪工業大学、東京工業大学研究生、アトリエ・ワン、

schtuccoを経て、neuciton主宰

DRIFTERS INTERNATIONAL

金森香、藤原徹平、中村茜の3人が理事を務め、企画・運営しています。

建築・パフォーマンス・ファッション・アートなど

様々なジャンルから漂流してくる、エネルギー満ちた日本のクリエーションを

ondon海外に漂流させて、あるいは海外のまごみぬ

クリエーションを日本にまで漂流させて、

今までないダイレクトかつメトロポリタンで、

ポップでまじめなシーンを、

さっさと近所の路地裏から実現させていきます。

drifters-intl.org

- 金森香 | Kao Kanamori

ファッションブランド「シアタープロダクツ」を01年設立。

取締役として今にいたる。09年よりスペクタクル・イン・ザ・ファーム実行委員長。

10年よりNPO法人ドリフターズ・インターナショナル理事。

シアタープロダクツとしては都内に3店舗をかまえながら、

一般に向けたファッションショーや海外ワークショップなどの活動も行っている。

NPOの活動としては「トリフのファッション研究室」を10年に始動。

- 中村茜 | Akane Nakamura

04年-08年STスポット横浜プログラムディレクター、

08年より株式会社アリコ代表取締役。

09年よりスペクタクル・イン・ザ・ファーム実行委員、

10年NPO法人ドリフターズ・インターナショナル設立。

アリコでは岡田利規/チャエル・フィッシュ、矢内原美邦/ニプロール、

麻本雅子らのマネージメントや海外展開、

吾妻橋ダンスクロッシング等のプロジェクトも手掛ける。

10年よりイベント&ギャラリースペースSNACの企画運営を始動。

- 藤原徹平 | Teppci Fujiwara

横浜国立大学大学院修了後、

01年より隈研吾建築都市設計事務所勤務、現在同事務所設計室長。

08年より横浜国立大学非常勤講師、

09年よりフジワラテベイアーキテクツラボ代表、

10年よりNPO法人ドリフターズ・インターナショナル理事、

東京理科大学非常勤講師。

新・港村

ROUNDAABOUT JOURNAL vol.12

12

[企画・編集] 藤村龍至/山崎泰寛

[編集協力] 伊庭野大輔/藤井亮介/松島潤平/本瀬あゆみ/刈谷悠三/

[デザイン] 刈谷悠三

発行日：2011年9月19日

発行所：有限会社藤村龍至建築設計事務所

url: www.ryujifujimura.jp e-mail: office@ryujifujimura.jp

特集
Special Feature

Design of

の
設
計

決 定

チームラウンドアバウト

DRIFTERS INTERNATIONAL

NPO法人ドリフターズ・インターナショナル

1. MEJIRO STUDIO / HIROKAZU SUEMATSU
メジロスタジオ/末光弘和[SUEP.]

2. TAKUTO SANDO / noma
山道拓人[g86]/noma

3. RYUJI FUJIMURA / TEPPCI FUJIWARA
藤村龍至/藤原徹平

LIVE ROUNDAABOUT JOURNAL
in SHIN MINATOMURA

2011.9.19.13:00-17:00

TEAM ROUNDAABOUTによる
ライブイベント「LIVE ROUNDAABOUT JOURNAL」の「新・港村」での特別バージョン。

建築家やアーティストが自身の活動のプレゼンテーションを行います。

参加者らでtwitterでの実況を行った上で、

それらのログをもとにフリーペーパーをその場で編集・作成・配布します。

EDITION
LIVE ROUNDAABOUT
JOURNAL
DRIFTERS
INTERNATIONAL
in SHIN MINATOMURA
web
[公開版]

2011.9.19

9/19
MONDAY

新
・
港
村

TL-01

1st MEJIRO STUDIO

古澤_どのような思想で設計しているか。JAの震災特集号の吉村靖孝さんとスタンスが似ている。
|古澤_両義性について興味がある。有名なのはルビンの盆|古澤_メジロスタジオ「両義性」について。反転した地図。両義性のある町は反転しても地図の印象が変わらない町。|古澤_都市の中での両義性について。ヨーロッパの建築とその隙間の両義性が興味深い。|古澤_両義性の興味について自分たちの言葉に置き換えると「カモフラージュ・アイデンティティ」|古澤_カモフラージュの代表例。迷彩色はいろんな色が混じっている状態であって、「色」ではない。|古澤_カモフラージュ・アイデンティティ 迷彩色は模様なのに「色」として一般化されている。|古澤_もう一つは擬態。環境に合わせて色を変えるしたかさに惹かれている。|古澤_9世紀の5本足の動物の彫刻。横から見たときと前から見たときと見え方が違う。統合されない全体性ともいえる。|古澤_限さんの論文、『ハドックからカラオケへ』の参照。現在はyoutubeに代表されるようにカラオケから世界へ発信できる可能性がある。|古澤_首都高。都市の中にサーキットを作るのは合理的ではない。超合理的な考え方じゃないと成立しない。|古澤_再生回数は観客動員数的に世界へ通用してしまう。|古澤_マジョリティとマイノリティ。多数派に対して建築家がどうコミットしていくか。|古澤_郊外はどう捉えるのか、を考えている。マジョリティとマイノリティをつなぐヒントがある。|古澤_限さんの「ハドックからカラオケへ」この状況はかわりつつある。カラオケより閉じている自分の部屋での鼻歌がユーチューブで何万回を再生されている。その二つの状況をつなぐような。白鳥が水面でバタ足しているアイデンティティと優雅に飛んでいるアイデンティティ。|古澤_立野の住宅の説明。中の間仕切りは自由に変えられるようになっている。また外壁の表皮ではソレソレの面とザラザラの面がある。窓は一見ランダムのように見えるが、角度によって連続して見える。|古澤_当初、プランはもう決まっていた。出来上がった図面に色づけすることだけが要求されていた。|古澤_どのビルディングタイプにも属さない建築。テクスチャをつるつるとザラザラを交互に反復。光によって劇的に。窓の位置も内部の使いやすさによって決めている。外観の表面積を増やすことでまちへひらく|古澤_結果的にはプランが変わってしまったが、階段と室の配置などそれぞれの位置関係は変えていない。|古澤_東府中の集合住宅。パターンの反復によって交換可能な形式をつくる。|古澤_全部屋角部屋、そしてリゾートホテルのような外観(笑)|古澤_一般的なnLDK。南面パレコニー、各部屋角部屋。リゾートホテルのような外観。四十五度ふることで耐力壁を。|古澤_「立川空想不動産」。埋もれている不動産を发掘するようなプロジェクト。その中で自分たちで作った集合住宅を自分たちでリーシングするスキームをつくった。|古澤_インラクティブでもなく、一方的に発信するわけでもない。発信側と受信側に「似せるべきモデル」という第三者を媒介する異質なコミュニケーションを「カモフラージュ・アイデンティティ」と位置づけたい。|藤原_末光さんは環境をテーマにした予言めいたことを言つていて興味がある。

WALL-01

RT-01

メジロスタジオ
fujiwalabo いきなり今日一日を総括しそうな思想がでてきた。RT @ sandotakuto 地球家族! これ、まじでおもしろい。というか僕の思想のベース!!! takahitoitoto アノニマスでありながら個性があるような、混沌と秩序、矛盾。バラドクス!! fujiwalabo 「実情をかっこにいれる」「自由」あたりがメジロらしい。 ryuji_fujimura 外国人から見た東京という視点。アトリエみたい。 yukitama_ 勝者と敗者は即座に反転可能な社会。3.11以後みんな共有して認識のなれば ryuji_fujimura 多数派に対して建築家がどうコミットしていくか。与条件の咀嚼。郊外。 takanoban 「立野の住宅」は、ある種保険的なお客様の保守的な住宅プランを、「収納足りないですね?」などと一つ一つ説得して新しいデザインフィールドの実験場となった。 takahitoitoto 不動産が使うような一般的な建築言語(idk: 角部屋とか)のコーラージュが、結果的に全く逆の、異質なものに再構成されるダイナミックさ

[末光弘和]
ryuji_fujimura 初めて聞いたときには6つもキーワードがあつても覚えられないよ!と思ったが、だんだん覚えられてきた

[ryuji_fujimura] 精密な調査によって読み込まれた環境。山梨さんらのソニーシティ大崎を思い出す。住宅版データベース型地域主義などは。

[hiro_tsuibo] 僕が構造設計したのがいつか紹介されてる。行けばよかったかな。 ryuji_fujimura 環境アルゴリズム。キター。

[daisukehurusawa] 末光さんはハドックから本レースへ抜け出た感があるので、住宅の説明なのに公共建築のプレゼンを見る。

[babakanenobu] 環境性能の話が身体性を超えるとき、環境の公共性というのは都市的に可能性がある。

[山道拓人]

[fujiwalabo] いきなり世代間圧力? RT @ryuji_fujimura: 「建築家は社会学者の引用ばかりだったからといってどうせそんな人いなかつたけどね。2007年当時。 fujiwalabo 世界把握、リアリティ獲得のために踏み出すツールとしての建築といつことかな。

[ryuji_fujimura] 「JA82」のプロジェクト。福島第一原発の上に立つコンクリートのピラミッド、QRとかやってたのに、いきなりベバー上のモニュメントになった。

[ryoji_katayama] 「未完の民家」。すごく東工大的なタイトル。

[fujiwalabo] みかんのみんな。 fujiwalabo 予算はゼロでさらりと言う。

[ryuji_fujimura] 改修を「建築の普遍的な次元まで拡大」。これも随分保守的に聽こえるな。

[daisukehurusawa] 未完の民家。身体を動かしてセルフルド系。いきなりリアルな提案へ移行。

[koichi_katayama] Share is More!! やられた感がある。

[fujiwalabo] ドリフのテーマにもつながるね。良い言葉。RT @sotb2011: 「カラフルな社会構築」これは世界間に共有されている気がします。

[mao20XX] 多様な主体の参加を許容するプラットフォームとしての建築なのではないでしょうか? RT@fujiwalabo: カラフルな社会構築における建築の役割とは何だろうか。

[noma]

[babakanenobu] 社会と個人、全体と部分の並存の為に何が必要か考える。それを真っ正面から志向すると分裂するのかしら....

[ikasamaya] 読んでる。RT @ryuji_fujimura: RT @TeamROUNDABOUT: FACEBOOKにて、TRAがレビューのためのメモを投稿しています。

[h_suemitsu] nomaのプレゼンター。伊藤くん、藤末さんを中心とした学生団体。ドリフは、フジワラチルドレンの育成所? 今日の集まりの趣旨が見え隠れしてきた。

[fujiwalabo] カモフラージュ(メジロ)、カラフル(山道)、コラージュ(noma)なにやら言葉のイマジナリーラインがあるね。

[fujiwalabo] そうだと思いますが、多様な主体は卓袱台をひっくり返したい人が多い。RT@mao20XX: 多様な主体の参加を許容するプラットフォームとしての建築の役割とは何だろうか。

[h_suemitsu] 今日の不思議な組み合わせは、学生に最も影響力のある若手建築家2人、藤原徹平vs藤村龍至の団体戦なのね。最後は、大将対決?

TL-02

WALL-02

的の存在に回収されてしまう恐れがあるのではないか。|山道_厚みゼロの作品であり、且つゴミもない。|山道_JAでの提案について。何百年、何千年語り継がれるモノумент。「かたち」ではなく「かた」に興味があった。|山道_未完の民家。眠っている光・時間などをどのようにして甦らせるか。|山道_無数のトライアルを通じて、できた言葉。Share is More。|山道_「建築」の時間・ライフサイクルに介入する建築家像を目指し、「ツクルノ」という会社を立ち上げた。|山道_シェアオフィス。樹形図のようなオフィスレイアウトによって関係がより機的になる。|山道_kenchikuteki.comのプロジェクト。巨匠達のスケッチのトレスなどを通じて建築理論の教科書をつくるプロジェクト。|山道_震災に対するアクションでもある。僕らは腰を据えて先人たちの知恵を読み解いていくことを実践することが必要だと思った。|山道_個人の集合が空間を作り出すような、新しいメタポリズムとも呼べるものを目指したい。|続いてnomaのプレゼンテーション

●藤村さんのプレゼンテーション、「アーキテクトの時代」

●語音アーキテクツ論を「意思決定モデル」として用いることで、個人の建築に結果させることを越えて、大人気でのクリエイションの結果を試みている。つまりそれは「都市」の「建築

sandotakuto nomaの手法は、僕の考えているカラフルな社会構築といったコンセプトに通じる。

[babakanenobu] 状況から自分たちで作る。ゴールはどこだ。

[fujiwalabo] どんな本質が見えるのだろうか。RT @TeamROUNDABOUT: 伊藤:建築・アート・ダンスなどクリエイション境界を取り除くことでそれの本質がみえてくるのではないか。

[h_suemitsu] 藤原さんは、徹底的に広角にクリエイションの幅を広げ豊かさを求める。藤村くんは、建築家のあり方を徹底的に掘り下げながらストラテジックに模索する感じ。この2番手対決には、その傾向が如実に現れている。だから、藤原さんには、ガールズが、藤村くんには、ボーイズが集まるのか。

[strito] 学生さんのプレゼンは、自分の関与具合による愛の偏りが内容をわかりにくくしているな。自分の興味だけではなく、対象の視点を想像しながら喋って欲しい。

[藤村龍至]

[sandotakuto] アーキテクトの時代 h_suemitsu いよいよ、大将対決。まずは、藤村くんプレゼンター。

[sandotakuto] 形の合成に関するノートの読み直しは、僕も興味がある

[sandotakuto] 教育のプロセスへ応用するという社会意義深い日本のコンセプトを海外へ輸出するということはこれから必要なこと。

[h_suemitsu] 磯崎さんの引用、キター。

[sandotakuto] 情報空間が今ほど成熟していない時代に、こういうコンセプトをひねり出せるのは、凄い。

[babakanenobu] 系譜をきちんと受け止めようとしている。誠実である。

[fujiwalabo] プロタイプはなぜ磯崎さんのままなのだろうか。

[h_suemitsu] やっぱり、藤村くんには、このプロセス論を公共プロジェクトで是非実践して欲しいな。今、課題やワークショップでやっているのは、模擬訓練。

[orihis0y] WSの枠組みを「設計したといったのが印象的。

[fujiwalabo] 人事異動歓迎会のメタファーワーとしての昼食会。

[orihis0y] ボトムアップの時代のアーキテクトのマニフェストのあり方。

[koji_AOKI] たしかに北仲のワークショップの話はインパクトが大きいたうだ。

[fujiwalabo] 磯崎さんの『Incubation Process』。東京の空撮写真の上に楔を打ち込み、針金でつないでいく

[h_suemitsu] クシヨウツの面白いところは、用途ではなく、都市機能からアートの側面からスタートするところだ。|都市形態には正しさが存在する。|人、車、建物を移動・滞留・交錯するための建築の平面直角性によるものでもある。自分の問題とおなじれば、都市は自分のものにならない。|藤村さんの超複雑プロセスといいつ� vozの問題は、誰もが都市のものでないが、誰と、僕は思っています。|・都市は誰のものでないが、誰のものでもある。自分の問題とおなじれば、都市は自分のものにならない。

[h_suemitsu] 磯崎さんの引用、キター。

[sandotakuto] 情報空間が今ほど成熟していない時代に、こういうコンセプトをひねり出せるのは、凄い。

[babakanenobu] 系譜をきちんと受け止めようとしている。誠実である。

[fujiwalabo] プロタイプはなぜ磯崎さんのままなのだろうか。

[h_suemitsu] やっぱり、藤村くんには、このプロセス論を公共プロジェクトで是非実践して欲しいな。今、課題やワークショップでやっているのは、模擬訓練。

[orihis0y] WSの枠組みを「設計した」といったのが印象的。

[fujiwalabo] 人事異動歓迎会のメタファーワーとしての昼食会。

[orihis0y] ボトムアップの時代のアーキテクトのマニフェストのあり方。

[koji_AOKI] たしかに北仲のワークショップの話はインパクトが大きいたうだ。

[fujiwalabo] 磯崎さんの『Incubation Process』。東京の空撮写真の上に楔を打ち込み、針金でつないでいく

[h_suemitsu] クシヨウツの面白いところは、用途ではなく、都市機能からアートの側面からスタートするところだ。|都市形態には正しさが存在する。|人、車、建物を移動・滞留・交錯するための建築の平面直角性によるものでもある。自分の問題とおなじれば、都市は自分のものにならない。

[h_suemitsu] 磯崎さんの引用、キター。

[sandotakuto] 情報空間が今ほど成熟していない時代に、こういうコンセプトをひねり出せるのは、凄い。

[babakanenobu] 系譜をきちんと受け止めようとしている。誠実である。

[fujiwalabo] プロタイプはなぜ磯崎さんのままなのだろうか。

[h_suemitsu] やっぱり、藤村くんには、このプロセス論を公共プロジェクトで是非実践して欲しいな。今、課題やワークショップでやっているのは、模擬訓練。

[orihis0y] WSの枠組みを「設計した」といったのが印象的。

[fujiwalabo] 人事異動歓迎会のメタファーワーとしての昼食会。

[orihis0y] ボトムアップの時代のアーキテクトのマニフェストのあり方。

[koji_AOKI] たしかに北仲のワークショップの話はインパクトが大きいたうだ。

[fujiwalabo] 磯崎さんの『Incubation Process』。東京の空撮写真の上に楔を打ち込み、針金でつないでいく

[h_suemitsu] クシヨウツの面白いところは、用途ではなく、都市機能からアートの側面からスタートするところだ。|都市形態には正しさが存在する。|人、車、建物を移動・滞留・交錯するための建築の平面直角性によるものでもある。自分の問題とおなじれば、都市は自分のものにならない。

[h_suemitsu] 磯崎さんの引用、キター。

[sandotakuto] 情報空間が今ほど成熟していない時代に、こういうコンセプトをひねり出せるのは、凄い。

[babakanenobu] 系譜をきちんと受け止めようとしている。誠実である。

[fujiwalabo] プロタイプはなぜ磯崎さんのままなのだろうか。

[h_suemitsu] やっぱり、藤村くんには、このプロセス論を公共プロジェクトで是非実践して欲しいな。今、課題やワークショップでやっているのは、模擬訓練。

[orihis0y] WSの枠組みを「設計した」といったのが印象的。

[fujiwalabo] 人事異動歓迎会のメタファーワーとしての昼食会。

[orihis0y] ボトムアップの時代のアーキテクトのマニフェストのあり方。

[koji_AOKI] たしかに北仲のワークショップの話はインパクトが大きいたうだ。

[fujiwalabo] 磯崎さんの『Incubation Process』。東京の空撮写真の上に楔を打ち込み、針金でつないでいく

[h_suemitsu] クシヨウツの面白いところは、用途ではなく、都市機能からアートの側面からスタートするところだ。|都市形態には正しさが存在する。|人、車、建物を移動・滞留・交錯するための建築の平面直角性によるものでもある。自分の問題とおなじれば、都市は自分のものにならない。

[h_suemitsu] 磯崎さんの引用、キター。

[sandotakuto] 情報空間が今ほど成熟していない時代に、こういうコンセプトをひねり出せるのは、凄い。